

# えべつの未来づくりミーティング

～ 江別SOGIの会編 ～

令和4年4月25日（月） 江別市民会館2階21号室

午後6時～午後8時

## 1 江別市の「強み」「弱み」は

・強みは、日常生活を営む上で、不足するものがないところ。大体のものが揃っている。スーパーマーケット、病院もあり、住みやすい。札幌市のベッドタウンなので、JRを利用して少し移動すると、デパートにも行ける。土地の値段も札幌より安い。弱みは、支援機関等、札幌に行けばあるのに江別にないものがあることで、例えばホームレス、引きこもりの支援団体など。いろいろな意味で札幌に依存しているの、いざという時に頼れるところが身近にない。その結果、LGBT、高齢者への支援についても、知らないまま過ごしてしまう部分が非常に多くあるのではないかと。



- ・弱みは、自分が保育園を利用していた当時、保育料が他市に比べて高いと思ったこと。また、障がい者（児）の支援窓口が少ないこと。学習障がいの疑いがある子どものスクリーニングも札幌に行くことになり、学習支援も、札幌市の事業所に通わなければならず、保護者の負担になる。LGBTの学習会も札幌市では積極的に行われているが、江別市にはない。まずは、児童生徒ではなく学校の先生を対象に学習会を行ってほしい。また、先生が知識を持っていても、保護者が知識を持っていなければ、家庭で辛い思いをする子ども（当事者）がおり、保護者への普及も必要。強みは、学校選択制のほか、ジャージで通学できること。また、お菓子がおいしい。江別産の小麦は素晴らしいと思う。
- ・強みは、地域ごとの特徴がはっきり分かれているところがユニークだと思う。日本全体の人口が減っている中で地域のスポンジ化現象が起こってくる。独居世帯が増えており、町内会との連携が必要だと思う。空き店舗でカフェをオープンし地域の状況を把握しようとしている町内会もある。江別市も各地域で、自発的な活動によりコミュニティが持続できるように促していくことが必要だと思う。LGBTの面では、個室ではない男子トイレを使うことが苦手な子どもがいる。学校でも子どもが快適に過ごせるように、男子トイレであっても、家と同じくすべて個室にするのが良いのではないかとと思う。強みは、札幌よりも空が広いこと。どこにでも緑があって、落ちついて過ごせる環境がある。面積的にもゆとりがあって過ごしやすい。交通アクセスは良いと思う。この状態を人口が減っても維持してほしい。
- ・強みは、子育て世帯にとって、子どもを育てやすい環境だと思う。一方、弱みとして、高齢者にやさしくないまちだと思う。個人的には、江別市は老後に住みたくないと思う。他の市と比べると、高齢者の権利擁護への意識が低いと感じる。危険が予測される方には施設入所を勧めているが、ひとりでも生活できる高齢者に対して、生活上困っていることをサポートする取組が少ない。今年の大雪の状況下での除雪など誰も頼れないという、独り暮らしの高齢者がいた。新型コロナウイルスの感染拡大もあり、民生委員が来ることも減り、施設入所を断ったら、それ以降誰も来なくなったということだった。独り暮らしの高齢者の権利擁護に力を入れてほしい。地域での見守り体制を強化することも大切だと思う。
- ・強みは、学問が優秀な学校、スポーツの成績が良い学校があるなど、若い世代が入ってくる環境が整っていること。若い人たちが市政に関わってくれば、若い感覚でいろいろなことに取り組んでくれるのではないだろうか。弱みは、高齢者にはやさしくないまちだと思う。高齢者が増えている一方、路

線バスの乗車人数は減っている。バス交通が不便になっているのではないか。高齢者が車を運転せざるを得ない状況になっている。今年の大雪の時などは大変だったのではないだろうか。どう高齢者を助けるか、若い世代に参画してもらって、新たな取組ができれば良いのではないだろうか。

- ・弱みとしては、車が必須のまちであること。細長いまちなので、中心から遠い地区に住んでいる方は不便で、だんだん衰退して、バス路線も減ってきている。除雪の問題もある。除雪を競う大会をやっている自治体もある。イベントや情報共有などを通して、除雪について地域ぐるみで考えたり取り組んだりしていくことができれば良いと思う。強みは、江別産の小麦の質が良いこと。自分で麺を打ったことがあるが、他の地域の小麦を使った麺と比べておいしかった。本州でも、江別産の小麦を取り寄せて使っているパン屋さんがある。そのほか、大麻東中学校、自動車学校のあたりからの、札幌方面を見た景色がとてもきれいだと思う。写真を撮りに来る方もいる。

## 2 江別市パートナーシップ宣誓制度を機に変わったこと、今後、期待すること



・パートナーシップ宣誓制度により、一つのシンボルができた。一自治体ができる範囲は限られるが、今できることを制度として位置づけたことは、大きなことだと思う。

・まだ周知活動が足りないと思う。札幌市では地下鉄にポスターが貼ってあるなど、周知活動を積極的に行っている。子どもたちの目に止まる場所に貼れば、当事者も未来予想図が描けると思う。江別市は誰にもやさしいまちだということが分かってもらえるような、市からのアプローチが必要だと思う。江別市が取り組むことで日本全体に広がっていくことにもつながる。

- ・パートナーシップ宣誓制度ができたことは、喜ばしいことだと思う。政令指定都市以外の自治体では、北海道内で第一番目で、政令指定都市よりも充実した内容の制度である。暮らしやすさを大いにアピールしている。江別にどうぞ、という気持ちも感じる。近年、パートナーシップ宣誓制度を取り入れている自治体が全国で増えており、現在国内人口のカバー率52%になった。江別市では、まだ宣伝が足りないと感じている。周知にかけられる予算の都合もあると思うが、周知活動がもう少し必要なのではないだろうか。関東地方では、パートナーシップ宣誓制度の内容がより良い地区に引っ越すという事例があると聞く。もしかすると、札幌市から、あるいは、パートナーシップ宣誓制度がない自治体から、江別市に引っ越してくるカップルも出てくるのではないか。そのためにも対外的に周知していくことが必要だと思う。公共施設や学校、駅などにパフレットを置く、インターネットで発信するなど地道に努力していくべきだと思う。

- ・男女共同参画の取組の関係者でもパートナーシップ宣誓制度を知らない人がいる。制度ができたことで、今まで知らなかった、知ろうとしなかった世代も、調べてみよう、勉強してみようというきっかけになるのではないだろうか。若い世代は、当たり前に見たり耳にしたりしているので、割と容易に受け入れられる環境にあると思うが、そうではない世代も受け入れるきっかけになると思う。宣誓書をもらうことで、婚姻している夫婦と同様の権利を市内で受けられるようになって、やっとパートナーとして、市民として参加できるのではないか。



- ・パートナーシップ宣誓制度を要望してから、できるまで、足掛け4年かかった。もう少し早く創設されても良かったのではないかと気持ちはあるが、できたことはまず良かった。江別市男女共同参画審議会でも、何度も制度の必要性を述べてきた。その結果、同審議会の意見を受けて、より良い内容になった。江別商工会議所でアンケート調査を実施した時、LGBTを知っているか、どう考えているかを聞いたことがある。パートナーシップ宣誓制度については聞いたことがない人がほとんどで、自由記載には、果たしてそれを制度化しなければいけないのかという意見もあった。今は市民への周知が進

んで、そのような意見は少なくなっていると思う。

- ・江別市にパートナーシップ宣誓制度ができたことが大きな一歩だと思う。一歩前進できた。周りの自治体にも広がっていくと良いと思う。

### 3 今後、江別市が力を入れるべき分野について

- ・LGBTの理解普及という視点からは教育が重要。学校教育だけではなく、多世代への教育として大事で、マイノリティの存在が当たり前になっていくことがゴールだと思う。もう一つは協働。計画に示す際に、協働という項目一つに示すのが良いのか、全分野に横断して示すのが良いのかは悩ましい。
- ・LGBTも、高齢者も、さまざまな困りごとを知ることが大事。民生委員、保護司、子どもたちのホットラインを担っている人も、LGBTのことを知らない人がいる。実情を知って手を差し伸べることができる体制づくりが必要だと思う。
- ・高齢者が増える中においては、福祉が大事。高齢者が健康な状態で、住み慣れた地域でできるだけ長く暮らせることが、より良い人生を送ることにつながるのではないかと思う。調子が悪くなっても、医療体制が整っていたり、地域の連携ができていれば、安心して住めると思う。また、LGBTやSDGsなど、カタカナが多いとなかなか頭に入らないという人もいると思うが、生涯学習などで普及してほしい。市民の積極的な行動力につながっていくと思う。
- ・全部の分野に共通して言えるのは、命を守ることが大事ということ。人の命を最優先にすることが重要。除排雪の遅れで救急車が通れないことはもちろん、障がい者、高齢者、LGBTの方が孤立していたら、命の危険につながる。災害時に避難所に行けないLGBTの方がいれば、それも命の危険にさらされることとなる。命を守ることが大事。
- ・札幌市を除く石狩管内や近隣の市町村で、江別市がイニシアチブをとってほしい。各自治体の考えもあると思うが、パートナーシップ宣誓制度で言えば、創設したのは札幌市の他には江別市だけなので、連携して広域でも通用するものにしていくなど。また、その他の政策も、どんどん江別市が他市町村を引っ張っていく形になってほしい。
- ・周知という点からは、デジタル化が大事だと思う。そして、それぞれの分野の情報共有も必要。デジタル弱者もいるので、その部分も考えながら進めていくことが重要だと思う。

